



府議会(10月16日) 府民文化常任委員会 知事質問



デジタルを活用した高齢者の生活支援・健康増進サービスについて

うつみ質問(要旨)

次世代スマートヘルス(※)は、利用者の生活習慣をデータ収集し、それをもとに病気の予防、治療を医師の適切な診断やアドバイスのもとで行うことが可能で、QOLの向上、社会保障費の抑制、経済成長にも貢献するもの。

大阪府の重点分野として
取り組むべきではないか。

知事答弁(要旨)

世界的にも稀有な治療・予防アプリといった次世代スマートヘルス分野に特化したファンドと、産官学連携で支援を担うラウンドテーブルといった両立での基盤を最大限に活かし、府として、これら取組みを加速・強化することで、次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援拠点としてのプレゼンスを世界に示していく。

ヘルス産業スタートアップ創出



※次世代スマートヘルスとは
治療・予防アプリなど、デジタル技術を活用した府民の健康づくり促進に寄与するヘルスケアサービス。

府民文化常任委員会質疑(10月10日)

質問(要旨)

アーティストや文化芸術団体等への支援が今後も必要ではないか。文化芸術活動支援補助金について伺う。

理事者答弁(要旨)

単年度事業として予算措置をしているが、国・他自治体の状況も注視しながら、今後のあり方について判断してまいる。

質問(要旨)

こども達への文化芸術の鑑賞・体験機会の創出について伺う。

理事者答弁(要旨)

今年度も引き続き、様々の機会を通じて子どもたちが文化芸術を鑑賞・体験できるプログラムを検討実施してまいる。

質問(要旨)

DV防止基本計画策定について取り組みを伺う。

理事者答弁(要旨)

府内市町村はじめ関係部局と連携し取り組む。(被害者に寄り添った支援を求めた)

質問(要旨)

性の多様性の理解増進について伺う。

理事者答弁(要旨)

今後ともあらゆる機会を活用し、人権相談窓口の周知に努めるとともに、府民の理解増進を図る取り組みを進めてまいる。

